



各 位

2019年2月15日

会社名 TOYO TIRE株式会社
コード番号 5105
代表者名 代表取締役社長 清水 隆 史
問合せ先 執行役員 コーポレート統括部門管掌
笹 森 建 彦
TEL (072) 789-9100

特別損失の発生 及び 2018 年 12 月期 連結業績予想値と決算値との差異 並びに 2018 年 12 月期 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の決算において、下記のとおり特別損失が発生しますので、その概要をお知らせするとともに、2018年11月9日に公表しました2018年12月期の連結業績予想と本日公表の決算値との差異について、また、2018年12月期の個別業績と前期実績値との差異について、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

2015年12月期において、出荷していた製品の一部が国土交通大臣認定の性能評価基準に適合していない等の事実が判明いたしました。

当第4四半期決算において、状況が進捗し算定可能となったことにより、交換用の免震製品代金や改修工事費用43億33百万円、補償費用等2億58百万円、諸費用6億9百万円（主として、免震ゴム対策統括本部人件費等）を計上した結果、175億29百万円（製品補償対策費72億89百万円、製品補償引当金繰入額102億39百万円）を特別損失として計上しております。

現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用（主として、営業補償や遅延損害金等の賠償金、追加で判明する改修工事費用の金額が既引当額を超過する場合の費用等）がある場合には、翌期以降の対処進行状況等によって、追加で製品補償引当金を計上する可能性があります。

2. 2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の連結業績予想値と決算値との差異

(1) 連結業績予想値と決算値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2018年11月9日発表)	390,000	42,000	38,700	18,000	141.74
実績値 (B)	393,220	42,390	38,379	10,553	83.11
増減額 (B - A)	3,220	390	△321	△7,447	—
増減率	0.8%	0.9%	△0.8%	△41.4%	—
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	404,999	45,308	40,167	15,476	121.87

(2) 差異の理由

主として、上記1.における特別損失及び減損損失の計上のために、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表時（2018年11月9日）の予想を下回ることとなりました。

3. 2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の個別業績と前期実績値との差異

(1) 個別業績と前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前期(2017年12月期)実績 (A)	218,678	29,008	29,660	9,680	76.23
当期(2018年12月期)実績 (B)	225,696	26,864	27,283	1,956	15.41
増減額 (B - A)	7,018	△2,144	△2,377	△7,724	—
増減率	3.2%	△7.4%	△8.0%	△79.8%	—

(2) 差異の理由

主として、前期に発生した特別利益における事業譲渡益及び固定資産売却益が当期には発生しなかったこと、並びに、特別損失における関係会社貸倒引当金繰入額及び減損損失が前期実績値を上回ったために、当期純利益は前期実績値を下回ることとなりました。

以 上